

出題分析			
試験時間	75 分	配点 : 150 点	大問数 2 題
分量 (昨年比較) [減少	[同程度	増加]	難易度変化 (昨年比較) [易化 [同程度
【概評】 〈現代文〉 問題文そのものは短く見えるが、設問内にも文章が引用されているので、全体の読解量は例年どおりといえる。また、その引用文内にある漢文の訓読が問われた。 〈古文〉 出題内容・設問形式はおおむね例年どおり。珍しい出典からの出題であった。			

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
一	現代文 (評論) 青田麻未 「生活の時間と 公園の時間」 ○行数 : 97 行	現代都市における余暇のありようについて論じた文章。(一)の内容説明問題の選択肢 5 は「馴染みのない空間で」が不適當。(二)の内容説明問題の選択肢 4 は「時間の流れは不自然なものとして認識」が不適當。(三)の I は漢文の訓読が問われたが、基礎的な知識で対応できる。(五)の記述問題は、問題文前半の内容も踏まえて解答する。 ※ (昨年度) 評論、123 行、6 問 (6)	標準 〈問題文〉 標準 〈設問〉 標準
二	古文 (室町・曲舞) 作者未詳 『幸若舞』『満仲』 ○行数 : 26 行	若君のために息子を身代わりにした夫婦の苦悩と決断を描いた場面。(一)の語句問題は、対象が誰であるかを考える。(二)の内容説明問題の選択肢 5 は「仲光の妻と再会した」が不適當。(四)の内容説明問題は、敬意の方向に注目する。(七)の記述問題は、自害を試みる仲光に対し、妻がかけた言葉をまとめる。 ※ (昨年度) 鎌倉・擬古物語、24 行、7 問 (8)	標準 〈問題文〉 標準 〈設問〉 標準

※「行数」は問題文の行数。同志社大学の問題文は通常 57 字/行 (20 行/頁)。

※昨年度のデータは、同一日程の試験問題にもとづく。

設問構成 (設問数・形式・内容)													
大問 番号	設問数 (枝問総数※)	選択式 枝問数	記述式 枝問数	漢字	内容 説明	理由 説明	全文 把握	空欄 (脱文) 補充	主語 確認	現代 語訳	訓読 訓点	語句 文法 知識	その 他
一	5 問 (6)	5	1		3		2> 1				1		
二	7 問 (8)	7	1		4> 1		1					3	

※「枝問総数」は、各設問（小問）に含まれる枝問も個々に数えた場合の全設問（小問・枝問）の総数。設問形式・内容別の設問数も、これと同様の方法で算出した（ただし漢字の読み・書き取りの設問は、枝問に分かれている場合も設問単位で「1問」と数える）。

※「設問内容」の「>」の後の**太字斜体の数字**は、記述式の枝問数を示す。

合格のための学習法
<p>〈現代文〉</p> <p>基本的に選択肢は素直なものが多いが、なかには内容を丁寧に検討する必要がある設問もあるので、細部までしっかり確認しよう。また、最終設問の記述問題に多くの時間を割けるよう時間配分を意識しよう。</p> <p>〈古文〉</p> <p>内容説明問題や内容合致問題に加えて、文法問題も必ず出題されるので、読解力・知識の双方をきたえておくことが重要である。</p>